

2018 年白夜

おめでとう！カーリング女子スウェーデン金メダル、日本 銅メダル！

一泊二日平昌の旅

いやー冬季オリンピック、無事に終わってよかったですね。日本勢の連日の大活躍は素晴らしかったです。特に今回はカーリングが男女ともに連日フル中継され、それに応えるかのように選手たちも大活躍！日韓のカーリング競技の認知度を大いに高めた大成功のオリンピックでした。私はカーリング協会の委員もたずさわっている上に、選手としても男女代表と何度も試合をしたことがあるだけに、連日大興奮でした。そして、男女ともに決勝に進んだスウェーデン代表たちは私が 2007 年から 11 年の間に所属したストックホルムのスンビベリカーリングクラブ所属の選手たちです。当時は中学生、高校生、大学生だった彼らが男女ともに決勝を戦うのですから、もう応援したくて居ても立ってもおられなくなり、急遽、2 月 24 日の土曜日に平昌に飛んでしまいました！そして日曜日に決勝を見て帰国するという旅を強行しました。チケットを購入した時は日本女子の決勝進出もあるな、と期待していたのですが歴史に残る名勝負ののちに惜しくも韓国に敗れてしまいました。それでも開催国、韓国の熱狂的な雰囲気の中で女王スウェーデンがどのように戦うのか、その雰囲気を体感するのはまたとない貴重な経験になるはずです。そしてアジアのチームが決勝で戦うのはカーリング史上初の快挙です。そういう意味でも大変に歴史的な決勝となるでしょう。

とはいえ、私は韓国に行ったことはありません。札幌からソウル（仁川空港）便を検索すると随分たくさんの方が飛んでいるんですね。直航便があるとは知っていましたが、これほど簡単に往復できるとはびっくりです。国内の地方便よりも便利ですね。往復便をネットで購入。次は決勝のチケットです。でも、私が行くと衝動

的に決めたのは5日前。当然、正規チケットはありませんでした。しかし、これもネットで転売サイトがあり、入手することができました。初めての韓国。現地での買い物は現金が中心なのでしょうか？クレジットカードがメインなのでしょうか？田舎でも英語は通じるのでしょうか？着いたら電車のチケットをうまく買えるのでしょうか？カーリング競技場のある江陵市（カンヌン）のホテルにうまくたどり着けるのでしょうか？

行きはジェジュ航空という韓国の格安航空を利用しました。客の99%は韓国人らしく、早くも異国情緒が漂います。でも受付も機内も日本語で対応してくれます。それにしても千歳の国際線カウンターの混雑ぶりを見て、毎日、こんなにたくさんの外国人が来道していたのだと驚きました。仁川到着後、平昌はカーリング競技の行われている江陵市に高速鉄道で行かねばなりません。そのチケットを買おうとしたら、なんと帰りのチケットが無いと言われてしまいました。これでは行ったきりで、翌日の日曜日中に戻れなくなってしまいます。駅員は無情にも帰りは江陵駅で相談せよと言います。半ば混乱しながらも片道切符で行くことにしちゃいました！電車内で帰りのチケットをネットで探していたら突然、空席が現れ、購入することができ、ことなきを得ました。それにしても電車のチケットをあらかじめネットで買っておかなかったのは大失敗でした。危ない、危ない。ネット社会は便利になりましたね。家のコンピューターだけでなく、携帯電話でもスカスカとインターネットでチケットが買えます。それがなければ、こんな強行軍は不可能でした。

写真 韓国超特急 KTX



さて、仁川空港からの平昌へ向かう超特急 KTX は最高時速が 300km は出る新幹線の触れ込みでしたが、そんなに速い感じはしませんでした。どうも、途中駅が多すぎてスピードを出せないのだそうです。それで朝鮮半島を西から東へ横断することになるのですが、約 2 時間半でつきました。朝鮮半島の大きさが何と無く想像つきました。江陵市は北朝鮮から南へ 80km、朝鮮半島の東海岸にある小さなビーチリゾート地です。実のところオリンピック用の立派な駅や競技施設は実に街の規模にそぐわない立派なものでした。田舎の山あい忽然と建設された施設は終わったらどうするのだろうか？

写真。五輪江陵市会場



夜 10 時半に無事、江陵市に到着しました。この頃ちょうど女子カーリングで銅メダルをかけた日本対イギリス（スコットランド）戦が終わったところでした。ネットで石の配置だけをライブで見ることができ、延長かと思っていたら銅メダルが転がり込み、一人で感涙してしまいました。日本カーリング界、悲願のメダルですし、私たちと何度も対戦したり、一緒に飲んだ選手たちですから。

夜の江陵市で予約していたモナリザホテルを探します。地図上は駅の裏手、歩いててもそう遠くないはず。その方面に歩いて行くと何となくネオンが多くなってきました。突然国際化した駅とは違い、素の江陵の様相です。ホテルは繁華街の裏通りの薄暗いところにあり、襲われないか不安になる雰囲気を通りでした。こんな所で拉致されたらどうしようもないよなあ、なんて不安がよぎります。ホテルとは車が泊められるホテルが正式な意味ですが、日本ではラブホテルです。ここもそんな感じでした。ドアを開けると受付があり、もちろん韓国語しか話さないおばちゃんがカウンターに

出てきました。カウンターは壁で仕切られており、古いパチンコ屋の景品交換所のごとき、手が一つ入る程度の小窓があり、そこでカギの受け渡しをするわけです。まあ、普段はきっとラブホテルですね。そこが素泊まり 13000 円で一番安かったのですが、きっと五輪値段だったでしょうね。その裏通りも夜中に街灯がつき、明るくなりました。私はどうやらビーチリゾート地の繁華街に宿をとったらしかったのです。雰囲気はススキノの南側の外れのような感じです。

### 江陵市の繁華街



遅い晩御飯を食べに繁華街の入り口付近をぶらつくと女性のダンスショーやらキャバレーらしき店がちらほら見られました。客引きもいました。興味はそそられど、危険な目にあいたくなければ海外でこんな店は避けるに限ります。どの飲食店もハングルしかないのが非常にためられました。海の街なので海鮮小料理屋さんに入ったのですが、メニューに写真も英語もなく、店には誰も英語を話せる人はおらず、あえなく撤退。むかえの小さな焼肉屋に入ると写真付きメニューがありました。写真付きメニューがあ

ればどうにかなる、と飛び込みました。ここでも韓国語しか話さないおばちゃん一人が出てきました。ビビンバのような写真を指差すものの、何かこちゃこちゃ言って注文を受けてもらえません。そこでおばちゃんは隣の席に座っていた若い夫婦に助けを求めたようでした。幸い、その二人はオリンピックボランティアに応募したソウルからの人たちでした。英語と日本語で助けてくれました。おばちゃんは「ビビンバは副菜だからメインの肉料理も選べ」というオススメを言っていたようです。でもその肉料理のほとんどがユッケとか肉の刺身料理ばかりで困りました。なま肉は食えないと告げると、仕方ないわね、という表情で「ユッケの肉を加熱してあげる」ということになりました。韓国では生の獣肉を食べるのは珍しいことではないのですが、医者をやっていると0157やらサナダムシやらエキノコックスやら、生の獣肉に多い病気が頭をよぎります。生は無理っ！

加熱ユッケを目の前で色々な”赤い”ソースをかけてから混ぜてくれました。目の前にあった料理は混ぜる前は緑の野菜や茶色い肉などの異なる色彩があったのですが、混ぜ合わせられた後は真っ赤なひとかたまりの物体に変化していました。それほど赤い塊でした。でも食べてみるとさほど辛くはありませんでした。韓国料理の唐辛子は日本と種類が違うと聞いたことがありますが、見た目ほど辛くはありませんでした。美味しかったですよ。韓国ビール、ピルスナー2種類も美味しかったです。

通訳してくれたご夫婦はその日に日本スケートが金メダルもとったことを教えてくれました。カーリングの選手たち、特に藤澤選手が大人気になっていること、日本対韓国の熱戦などで話の花が咲き、互いの健闘を讃え合いました。私が札幌から来たことを教えると、「ぜひ行きたくて計画しているんだ」と目を輝かせてくれました。とても親切で友好的な二人でした。店のおばちゃんも安心したのか、帰りには思い出した日本語で「ありがとう、さようなら。頑張れー」と大きな声で見送ってくれました。その日はカーリング銅メダルの瞬間をネットで何度も見ながら、眠りにつきました。

翌日のカーリング女子決勝は朝の9時からスウェーデン対



韓国でした。友人のスウェーデンチームにお土産を渡すべく、早起きをしてシャトルバスで会場へ向かいました。入場の際は転売サイトからチケットが本当に使えるのか心配でしたが、何事もなく入場できました。そして席を探すと、なんと金メダルゲームの行われるシートの真正面、コーチ席と向き合ったカーリング観戦には特等席に相当する場所でした。カーリングの試合はシートの横から見ても石の曲がり具合がわからないので面白くないのですが、今回のシートはコーチボックスと同じようなものでカーリング通には最高の席でした。

写真 相談するスウェーデン



会場のボランティアの学生さんたち、一般人たちもとても親切でした。片言の英語でショップの場所を教えてくれたり、連れて行ってくれたりさえしました。はにかんで、とっても控えめな彼女たちは日本人の学生さんたちかとおもうほど似通った態度で可愛かったです。

決勝戦は韓国の大声援にも関わらず、スウェーデンと韓国の地力の差が出てしまい、しっかりとスウェーデンが勝ちました。大量点差の開いた9エンド。韓国チームは一瞬、みんなで意思を確認し、スウェーデンに歩み寄り、相手の勝ちを讃えました。礼儀正しい握手の後、スウェーデンは抑えていた大歓喜を爆発させ、敗れた韓国は奇跡の健闘を皆で泣き濡れながら抱き合って讃えていました。スウェーデンの友人たちの嬉し涙とアジアの友人たちの悔し涙の両方が胸を打ち、私ももらい泣きしてしまいました。大観衆のプレッシャーがかかった韓国チームは最後に整列し、声を揃えて「ありがとうございました」と深々と観衆に挨拶され、観衆は暖かい拍手で讃えました。それがまた、日本の光景と重なり、ウルウルとしてしまいました。

写真 整列して挨拶する韓国チーム



メダルセレモニーでは日頃、私たちと何度も試合をした日本代表ロコソラーレが表彰台に立つ光景は大感激でした。ここまでののにたくさん、たくさん負けて、ついに大輪の花を咲かせました。あっ

ぱれ！です。カーリングは小さくても勝つ方法があるんだ。チビでも銅！多くの体格の恵まれない若者たちに勇気を与えた大活躍でした。

写真 メダルセレモニー





突然に敢行したオリンピック観戦ですが、行ってよかったです。ピョンと行ってチャンと帰ってきましたよ。やっぱり、その国のこと、人々の雰囲気は行ってみないとわからないです。百聞は一見に如かず。今回の五輪はまさに平和のための祭典だったと強く感じました。日本や米国では北朝鮮への制裁強化だとか、武力衝突辞さずのような報道がされていたが、それは随分と無責任で乱暴な政策だと思いました。

ソウルから外れて江陵市への景色はのどかな農村地帯ばかり。江陵市も海辺の漁村とちょっとした海水浴場のようなのどかなところでした。

#### 車窓の景色



そこは北朝鮮からわずか80kmしか離れていません。身振り手振りで一生懸命もてなしてくれました焼肉屋のおばちゃん。通訳をしてくれた、札幌に来たいと言ってくれた若いご夫婦、会場の親切なボランティアさんたち。そしてチームキム。その多くの振る舞いは慎ましく、礼儀正しく、非常に日本人の所作に似通った人たちでした

## 写真 ボランティアと



その彼らが戦火に巻き込まれていいはずがありません。戦争機運が遠のきそうな点では大成功な五輪でした。制裁一辺倒で窮鼠猫を噛むような事態になれば日本もタダではすみませんから。

日本のメディアはことさら韓国に対して、揚げ足をとるような記事をよく載せますが、今回の旅行で出会った人々は実に親切で、日本人とそう変わらない人々でした。いや、それは韓国人に限らず、多くの人種において共通の感情を有していることの方が多いものです。例えば日本カーリング女子ではスイスに慰められ、スウェーデンに励まされ。小平選手の韓国選手との友情も然り。カーリングにかぎらず、多くの一流スポーツ選手たちは国際交流を通じて、国境を超えて仲良しが多い。スポーツの良さって人種を国を乗り越えられるところにもあると思います。そして韓国の人々はかくも日本人に似ているものなのかと思いを新たにしました。方言のきつい地方に行くようなもんです。

日本より進んでいると感じたところもありました。公共の IT インフラは日本が負けていますね。仁川空港から平昌までの列車内、そして会場内まで wifi は完全に整備され、しかも速い。空港の待合の椅子には大抵コンセントと USB 端子がついている。携帯も速いし

繋がりが良い。日本なみ。ヨーロッパよりも断然整備されていました。クレジットカードが予想をはるかに超えて浸透していました。結局現金を全く使わずに済んじゃった。

やはり、国内報道だけでは目が閉ざされた感じですね。スポーツ国際交流がどんどん進んで、草の根から相互理解が深まり、平和が続けば良いと切に願います。

写真 江陵駅前にて カーリングポーズ



## 写真集

### スウェーデン 試合前練習



### 試合前の握手





スウェーデン、グスタフ国王と金メダルを2連覇したアネットノルベリ選手も来ていました。



韓国 メガネ先輩ことスキップ キムヨンギョン



スウェーデン スキップ アンナハッセルボリ



アンナとキム



勝利を讃える握手を求める韓国



スウェーデンの歓喜





ナショナルコーチ、元世界チャンピオンペイヤリンドホルムさんも  
感激の表情





## メダルセレモニー

銅メダルをかけられ感涙するマリリンこと本橋麻里選手



男子代表両角選手、清水選手と



晴れやかな日本代表



金メダル スウェーデンの表彰

